

# 文化



## ① 菅山寺 (余呉三山) MAP E-5

もとは龍頭山大真寺と称しましたが、平安前期に菅原道真公が宇多天皇の勅使として入山、3院49坊を建てて大真山菅山寺と改名しました。余呉湖辺の川並村に生まれた菅原道真が幼少の頃、勉学に励んだと言われる真言宗の寺です。現在は無住で、里坊弘善館で菅山寺宝物を展示しています。山門前に残る大木は菅原道真公お手植えの榎(ケヤキ)として伝わるものです。



## ② 洞寿院 (余呉三山) MAP D-1

室町時代前期、如仲禅師の開山で、丹生川上流の菅並からさらに支流・妙理川をさかのぼった溪間にあり、この地が中国の五台山に似た風景の地なので選ばれたと伝わります。湖北の曹洞宗を代表する寺で、修行の道場として大勢の禅僧を養育し宗派を広げました。坐禅堂があり、坐禅体験を行うことができます。



### 菅山寺 ハイキングコース

コースは巻頭マップ参照



余呉駅 25分 1.8km → 坂口登山口 80分 1.8km → 菅山寺 90分 3.6km → 余呉駅

信仰と神話の地・余呉

余呉三山、羽衣伝説  
守り、語り継がれる



## ⑦ MAP C-5

### 天女の衣掛柳

天女が羽衣を掛けたという伝説のある柳の木。

樹高:11m,  
幹周:240cm,  
220cmに又柳



## ③ 全長寺 (余呉三山) MAP B-3

あじさいとだるまの寺としても知られ、本堂は県指定の有形文化財。門前の25.5mのスズの大木は県指定の名木にも指定されています。曹洞宗全長寺は古くより柴田勝家の身代わりとなった毛受勝助兄弟の菩提寺でもあります。

## ④ 光勝庵 (安養寺) 十一面観音菩薩立像

安養寺はかつて国安草岡神社境内にあった寺院でしたが、本尊十一面観音は国安光勝庵に移され今日に至っています。(市指定有形文化財) MAP B-4



## ⑤ 源昌寺 (中林寺) 聖観音立像

MAP E-3

中林寺は菅山寺末寺として、丹生神社境内にあった寺院で、本尊と前立の二体の聖観音が祭られていました。現在は上丹生の源昌寺に安置されています。



## ③ 全長寺 (万福寺) 馬頭観音菩薩立像

MAP B-3

別所山にあった天台宗万福寺の本尊でしたが、全長寺の観音堂に移され現在に至っています。

